

What happened?

企画展

# 安田沖 異国船 あらわ した



関連イベント 講演会

文政12年  
安田沖漂流  
謎の異国船は  
何者だったのか!?  
(仮題)

要申込

詳細は裏面をご覧ください。

浜口義太著  
『異国船来話并図』文政13年  
(徳島県立文書館蔵)

安田まちなみ交流館・和

「土佐国絵図」  
(個人寄託・高知市立自由民権記念館保管)

4/22<sup>水</sup> 2020  
8/31<sup>月</sup> 2020

会場 安田まちなみ交流館・和

高知県安芸郡安田町大字安田1674番地1

時間 午前9時～午後5時

観覧料 200円(高校生以下および障害者手帳提示者は無料)

休館日 火曜日(祝日の場合翌日)

お問い合わせ

電話・FAX 0887-381-3047

e-mail info@yasuda-nagomi.com

HP http://yasuda-nagomi.com/

主催 安田町、安田町教育委員会

協力 徳島県立文書館

後援 株式会社東京映画社、高知新聞社、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KOSKANさんテレビ、エフエム高知



企画展

# 安田沖 異国船 あらわる!

4/22<sup>水</sup> 2020  
8/31<sup>月</sup> 2020

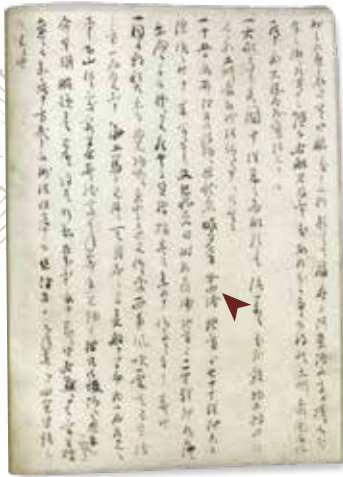


安田町 唐浜 (株式会社 東京映画社撮影)  
唐浜には砲場(つつば)が作られ、  
青銅製の大砲(おおづつ)が装備されていた。

寛永16年(1639)から200年近く鎖国政策をとり続けてきた日本。18世紀後半、ヨーロッパ諸国では産業革命が進み、増大する生産力を背景に工業製品の販路拡大と原料確保を求めて、アジアへ進出してきた。日本にもロシアやイギリスの船が度々来航、国内でトラブルが頻発し、幕府や諸藩にとって外国船対策は重要問題となっていく。

## 時代背景

**太平洋に広く面し、海岸線が東西に長い土佐には、江戸時代を通して、中国、琉球、ロシア、イギリス等、多くの異国船があらわれた。**  
文政12年12月(1830年1月)、安田沖を異国船が漂流した時、高松益之丞・順蔵親子、また柏原治右衛門、清岡三作ら安田浦・中山郷の郷士たちが「駆付郷士」として出動し、警固に当たった。  
藩の命令により、砲術や軍事操練に励む彼らの中から、尊王思想、攘夷思想に目覚め、勤王の志士となる若者たちが多く生まれたのである。



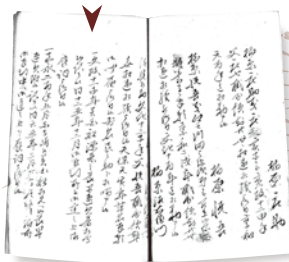
浜口卷太著『異国船来図』文政13年(徳島県立文書館蔵)  
12月14日の夕暮れ、安田浦より約7.6km沖合に異国船が漂流



## 郷士たちの活躍



郷士年譜「高松益之丞・高松順蔵」(高知県立高知城歴史博物館蔵)



郷士年譜「柏原治右衛門」(高知県立高知城歴史博物館蔵)

**講演会**  
**文政12年安田沖漂流 謎の異国船は 何者だったのか!? (仮題)**  
2020年4月26日(日)  
午後1時半〜午後3時  
場所/安田まちなみ交流館・和  
講師/ニコラス・ラッセル氏(歴史研究者)  
イギリス出身の英語講師で歴史研究者のニコラス・ラッセルさんが、日本側史料とイギリス側史料を照らしながら、文政12年安田沖を漂流した謎の異国船の正体を明らかにします。

関連イベント



## 安田まちなみ交流館・和 (なごみ)

住所/高知県安芸郡安田町大字安田1674番地1  
時間/9:00~17:00  
休館日/火曜日(祝日の場合翌日)  
お問い合わせ/TEL.FAX.0887-38-3047

高知ICから車で90分  
土佐くろしお鉄道安田駅から車で5分  
●90-minute drive from KOCHI IC  
●5-minute drive from Yasuda Sta.

NAGOMI Web

